

11月は児童虐待防止月間です

令和5年度「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」標語募集 最優秀作品

あなたしか 気づいてないかも そのサイン

近年、子ども虐待に関する通報・相談件数が増えています。その状況はさまざまで、殴る、蹴るなどの暴力だけでなく、食事を与えられず放置されるケースもあります。子どもは自分から「助けて」とは言えません。もしも虐待の兆候に気付いたときは「自分には関係ないこと…」と目をそらすのではなく、虐待を防止する意識と行動が大切です。

どんなことをしたら虐待なの？

身体的虐待 投げる・蹴るなど	ネグレクト 食事を与えない・入浴させないなど	心理的虐待 言葉による脅かし・無視など	性的虐待 子どもへの性的暴力・ポルノの被写体にするなど
--------------------------	----------------------------------	-------------------------------	---------------------------------------

子育て家庭が安心して暮らしていくためには地域ぐるみで子育てを支えていくことが大切です。地域で子育て家庭を見守っていきましょう。「もしかして虐待!？」と思ったら、迷わず相談・通報をしましょう。虐待でなかったとしても、通告者に責任はありません。

189

あなたの1本のお電話で救われる子どもがいます。児童虐待かもと思ったらすぐにお電話ください。

お住まいの地域の児童相談所につながります。
※一部のIP電話からはつながりません。※通話料がかかります。

〈問い合わせ〉健康福祉部 児童家庭課
TEL 67-1817



子どものやる気を引き出すしつけ

「うちの子いくら言っても聞けなくて、しつけて難しい」と話されるママは少なくありません。この場合、子どもの良くない行動に対して注意をしても効果が得られないということです。例えばお片付けをしない時、なかなかできなくて最終的には叱ってしまうことはよくありますね。しつけるためには怒るのではなく叱るということをよく言いますが、子どもに恐怖感を与える言い方をしてしまうのは叱るも怒るも同じです。人は恐怖を感じると脳が委縮するのだと言います。そんな状況でいくら説明したり、諭したりしても理解することは難しいようです。怖いからその場はいうことを聞くかもしれませんが遊んだ後は片づける、ということは伝わりません。次にお片付けする時も怖い思いをしないと片づけられないかもしれません。恐怖を与えず穏やかに片づけるために、方法の一つとして遊びたい子どもの気持ちを受けとめたうえで、初めから一人で全部片づけることを求めずまず一個から、一つでも片づけられたら「できたね」と認めて、大人と一緒に片づけながら二つ、三つと徐々に増やして、お片付けしたらきれいになったね、気持ちいいね、と伝えてあげましょう。しつけは子どもが少しでも幸せに生活していく為に必要なことを大人が示してあげる道標です。恐怖心を与えるのではなく子どものやる気を引き出す方法を見つけていきたいですね。 M. T



わわわ



2023. 11月号 NO. 185
郡上市子育て支援センター（はちまん児童館内）
〒501-4221 郡上市八幡町小野8-5-1
TEL (0575) 66-0209（はちまん児童館）
時間/月～金曜日 8時30分～17時15分

～輪・和・笑～

子育て支援サイト URL <http://gujo-kosodate.net>

郡上市子育て支援サイト「わわわ」では、毎月の通信を見ることができます。また、市内のいろいろな子育て情報も発信しています。



考えてみませんか？メディアとの付き合い方

新型コロナウイルス感染症の流行により、自由に交流しにくくなった中で、オンラインを通じた交流や、遊び、学びの機会が増えました。小・中学校ではタブレット端末が整備され、デジタルメディアを活用した学習が本格的に始まりました。子どもを取り巻くメディアが変化しています。

スマートフォンやタブレット端末などデジタルメディアに小さなお子さんが接する機会が増えてきています。メディアは「使い方」によって、これまでにない新しい可能性をもたらしてくれます。しかし、乳幼児期にメディアと関わるには使い方を考える必要があります。

★メディアと上手につきあうために大切にしたいこと★

親子で一緒に楽しみましょう

小さい子どもの育ちに大切なのは愛され守られている安心を感じることです。言葉や視線、動作のやりとりをしながら一緒に楽しむことをこころがけましょう。

子どもの年齢に合ったものを選びましょう

ネット上にはいろいろな情報があり中には悪質なものもあります。大人が子どもに合うものを選びましょう。

家族でルールを決めて習慣をつけましょう

子どもが安全に利用できるようメディアを使い始める時から上手に関わるルールが必要です。使い方を守りながら楽しめるよう大人がサポートしていきましょう。

★メディアを使う時に気をつけること★

明るい場所で画面からなるべく離れてみましょう。見る時の姿勢にも気をつけるといいですね。また、一回ごとの視聴時間は30分以下とし、目を休めるようにしましょう。

乳幼児期は、周りの大人と一緒に遊ぶ中で「楽しい」「おもしろい」そして「こころよい」という気持ちが育ち、体にも心にも栄養が与えられます。メディアの世界だけでなく、五感を使った活動が楽しめるよう実体験の経験を積み重ね、楽しい時間を共有できればと思います。